



撓ま ず 屈 せ ず が ん ば ろ う 釜 石 ！

室 浜 地 区

発行：平成 26 年 2 月
発行元：釜石市復興推進本部

復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

住宅再建意向調査の集計結果と、それに基づき再検討した土地利用計画を説明し、参加者の皆様と意見交換を行いました。

その結果、土地利用計画は会議に参加された皆様の合意を得られたことから、今年度中に関係地権者のご理解を得た上で、調査や詳細設計、造成工事に向けた準備を進めていきます。

用地買収状況によっては工事の全体工程に大幅な見直しが生じますので、地権者の皆様には、重ねてご理解、ご協力をお願いいたします。

開催概要	開催日：平成 25 年 12 月 23 日（月）	時 間：10：00～11：30
	場 所：長内集会所	参加人数：40 人

室 浜 地 区

岩手県土地開発公社が設計や造成工事を担当し、市とともに事業を進めていきます。



住宅再建意向調査の集計結果について

今回の調査は、昨年度の調査対象約 5,000 世帯から、住宅再建済みの世帯を除いた約 4,200 世帯を対象に行いました。市全体の回収率（12月4日現在）は 77.9% となり、室浜地区では 98.5% となりました。

その結果以下の通りです。

【被災時の居住地区別、住まいの再建方法の内訳】

被災時の居住地区	発送	回収	公営	自力	その他
室浜地区	65	64	23	40	1

【室浜地区内の自力再建者の詳細】

自力再建（世帯数）	今回	前回（参考）
土地は市が用意	14	21
土地は自ら用意	4	0

希望坪数	世帯数
100	14
80	3
60	1

合計：18 宅地

※住宅再建意向調査の回答者 14 人
聞き取り調査回答者 4 人の合計値

【室浜地区復興公営住宅の詳細】

合計：9 戸（戸建） 参考（前回） 19 戸

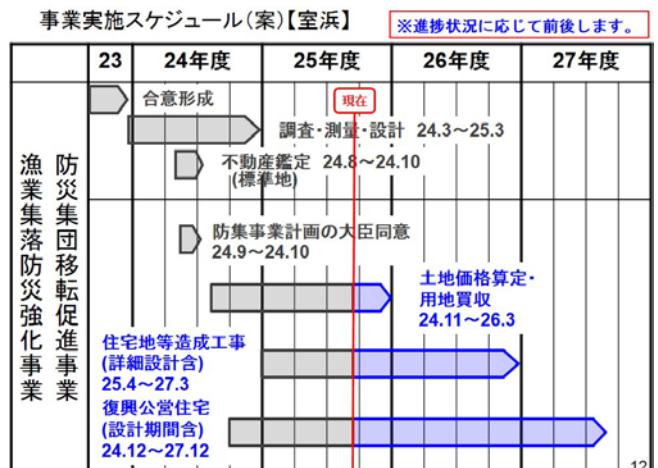
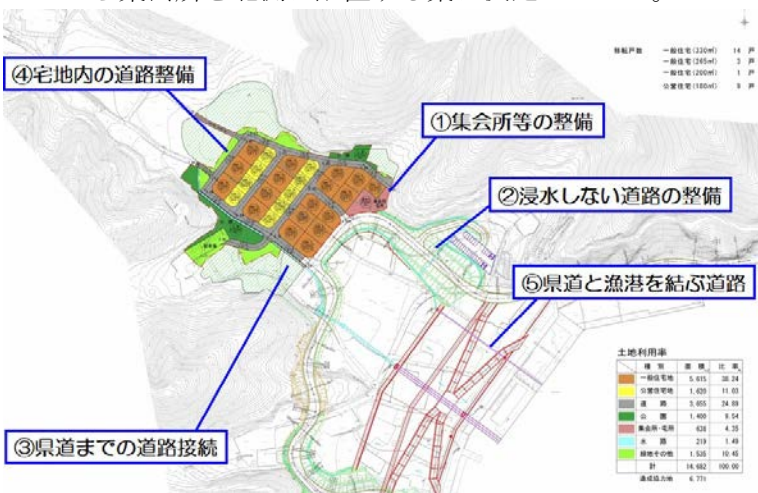
※他地区から 1 世帯入居を含むため 9 戸（=8 戸+1 戸）



前回協議会（4/27 開催）のふりかえりと室浜地区土地利用計画について

最終の住宅再建意向調査結果より、自力再建を 14 戸から 18 戸、公営住宅を 19 戸から 9 戸に変更したことから、前回提示した計画より造成面積が減り、宅地の高さも低くなりました。

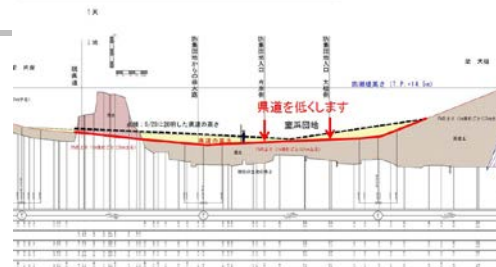
宅地の計画は同じですが集会所の配置を北側と南側にする 2 案があり、当日の会議参加者の皆様に合意を得られたことから集会所を北側に配置する案に決定しました。



一般県道吉里吉里釜石線について

住宅の戸数・面積が減り、防集団地の造成高さが下がることに合わせて、県道吉里吉里釜石線の高さも下げる見直し検討を行っています。以前の計画より高さが低く、盛土量が少ないため工事も早くなることが考えられます。準備ができた区間から境界立ち会いを行い、土地の買収を実施します。

県道を低くします



このような意見をいただきました

- 県道下の跡地はせっかくの土地なので、良いアイデアを出してというなら地元で検討しなければならない。

地元のみなさんで意見をまとめてもらえれば市としてもありがたい。災害危険区域で住宅を建てることができなくなるので、片岸地区では企業に誘致を図り、小白浜地区では地域の希望で仮にグラウンドを整備する方向です。復興交付金として対応できるように、国と調整が必要になりますが、地元のみなさんと意見をすり合わせていいものが作ればありがたいと思います。

- 集会所の位置は当初、今回提示された南側だったが、陽当たりの悪さなどから協議した結果、前回までの北側になったはず。決めたことは決めて話してもらいたい。

可能性としては、前に案があった南側にも取れるという説明であり、従来通りで良ければ集会所は北側ということで、検討を進めます。

- 宅地側から県道を越えて海岸に向かうにはどうすれば良いのか。沢からの雨を流す水路との関係はどうなっているのか。

他の漁村もほぼ同じような地形になりますが、うまく水を集めて海に流すよう、水処理を考えた設計をしています。

- 防潮堤と宅地の間が窪地になる。水の処理が心配だが、沼にならないように計画してほしい。

他の漁村もほぼ同じような地形になりますが、うまく水を集めて海に流すよう水処理を考えた設計をしています。

- お墓に下りる道路はどうなるのか。駐車場は確保されるのか。

県道からお墓へ接続する市道と、駐車場を整備する予定です。

- 室浜～片岸間の県道（トンネル）の状況は？

全地権者に計画への協力をお願いし了解を頂いており、片岸側は地権者に立会いで県道として整備する幅を見ていただきました。引き続き室浜側も準備が出来次第、立会いをお願いする予定です。来年度から工着工できるよう進めています。

- 堤防が出来ると海が見えない。海に出る家族を見に来る人の休憩所を作ることを要望できるのか？

防潮堤の上には東屋は出来ませんが、ベンチか椅子は置けると思うので検討していきます。

復興事業については、できる限りみなさまの期待に応えられるよう進めていきたいと思っております。1日も早く工事を完成させたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ
釜石市復興推進本部

TEL：0193-22-2111(内線 192)
FAX：0193-22-9505